米作り体験隊（４）　　＊＊ 稲の成長（２） ＊＊　　（２０１５．８）

平成２７年（２０１５）８月３日　私たちの田圃にメジャーを持って観察に出た報告です。

右側が私たちの田圃です。手前の田圃には稲が植わっていません。今年は休耕田になっています。北側にもう一枚分の田圃も、休耕田です。

田圃には稲以外の雑草が生え始めています。秋になり茂ると野鳥が飛来するかもしれません。楽しみです。

東側は稲の試験農場となっています。　左隅には「誘蛾灯」（ゆうがとう）が設置されています。

（本ＨＰ　２０１４年「１１月のぶらり散歩」ｐ４参照）

私たちの田圃です。稲は緑をたくわえ元気に育っていますよ。　豊作が期待できそうです。
田圃には水が張られています。　　次の段階はどんな状態になるのでしょうか ？

稲の背丈を急造のメジャーで測定すると、６０ｃｍから７０ｃｍの間です。
花が咲き、実をつけ、稲穂がはっきりする頃、背丈はどのくらいになるかな ？

「アマガエル」

水田はもとより人家の生け垣、畑などに生息しています。足の指先には吸盤が発達していて、写真のように、斜めの所にも体を保つことができます。

また、保護色の典型で、周辺の状況に応じて体の色を変えることができます。今は稲や草などに合せ黄緑色をしていますが、秋から冬にかけては灰・黒褐色に代わります。

「タニシ」

日本には、「オオタニシ」、「マルタニシ」、「ヒメタニシ」、「ナガタニシ」の四種が生息しています。その内、水田でよく見かけるのは「マルタニシ」です。

いずれも、食用にされます。

もう、稲の間に「雑草」が、長く延びています。

７月２７日　朝５時４７分の撮影です。　サギが２羽飛来していました。水田に水が入り「アマガエル」等の水生生物を摂りに来たと思われます。

今後、餌を求めて、沢山のサギが飛び交います。

昨年の１０月。稲刈りの終わった水田に飛来したサギの群れです。私たちの田圃の近くです。
秋の稲刈りの時にも私たちのすぐ脇に飛来すると思います。　感動します。　楽しみにしてください。

（本ＨＰ、２０１４年「１０月のぶらり散歩」ｐ７参照）